

# 若者たちと 話ろうよ!

# 国労千葉地本運輸区統合分会 SOGA 班新聞

## 第77回地方大会開催②

### 9月9日(土)10時半〜 市民会館

### 討論 (質疑・応答) 仲間の発言に学ぼう!

発言順に

- ① (新) 千葉 (小見川)
  - ② (新) 運輸区 (蘇我)
  - ③ (新) 津田沼 (潮見)
  - ④ 木更津統合 (長浦)
  - ⑤ 千葉機関区
  - ⑥ (新) 千葉設備 (西保)
- ・以上、(新) は分会再編での新分会、以下、分会名と職場名。①は運輸としての発言も含む。

**①千葉統合分会**  
会社の進める変革2027は、本来あるべき鉄道事業を投げ捨てている現状である。最大の理由は会社に苦言を言うべき労働組合の力不足と、悪政に他ならない。(運協) 統括センター化は、乗務員の予備問題等労基法40条違反である

**②運輸区統合分会**  
分会再編までの経緯と今後の運営について。統括センターや駅との業務提携により、通常乗務行路の中に余計な支持業務が設けられた。乗務員による車椅子対応は、4月実施と発表



**2023 年度新役員**

執行委員長：加藤晃一 (津田沼)  
副委員長：松田優一 (設備)  
書記長：北嶋利則 (設備)  
執行委員：嶋田福美 (設備)  
中島英二 (津田沼)  
高橋弘幸 (津田沼)  
佐川正則 (津田沼)  
北村智之 (千葉)

青年部長：飯田秀樹 (設備)  
会計監査：鈴木浩 (津田沼)  
太田久市 (津田沼)

**③津田沼分会**  
以前の西国、津田沼、新浦安の3分会を統合し、新しく発足させた。外国人旅行者が増えたと、半導体不足でスイカが発売中止になり、案内等の業務が増えている

**④木更津分会**  
地本内で唯一の地区分会 (内房線内の駅、運輸区、設備区全て)。課題もあるが、それぞれの職制が集まり、共通意識の中で取り組めることは大きなメリットである。地域公共交通を守る闘いは、交通弱者に対してどう取り組んでいくのか。池袋西武のストライキには力をもらえた。他、社員代表選挙の取り組み、JES

されたものの、実際訓練が行なわれたのは6月に入ってからで、その時点でも不完全な説明だった。ここ数年の会社施策はお粗末なものばかりで、憤りを感じる。

る。状況に合わせた要員を配置すべきだ。管理者は忙しい時でも手伝おうとしない。現金を扱えない規約にも問題があるが、それ以外でも仕事はあるはず。JESは教育の時間と内容が不十分だ。他、一人業務の弊害等。

**⑤機関区分会**  
Sのプロパー問題：等  
定年退職が続く中、要員不足で「65歳以降も働かせてくれ」という要求をしたが、断られた。他の機関区では再雇用が行なわれているのに・・・

**⑥千葉設備分会**  
分会再編では、7つの設備分会 (保線、電気、建築等) を一つにまとめた。新規採用者に対しての組合説明を行なった。希望外のエルダー先で、仲間が怪我をするも理不尽な扱いを受け、精神的にもまいっている。



☆ 集約後、全ての議題が承認され、加藤委員長の力強い回結ガンバローで閉会しました。お疲れさまでした。